

BURT LANCASTER, JUDY GARLAND, GENA ROWLANDS IN

# A CHILD IS WAITING

DIRECTED BY JOHN CASSAVETES

STAFF/Directed by John Cassavetes Produced by Stanley Kramer Associate Producer : Philip Langner Screenplay: Abby Mann Director of Photography : Joseph La Shelle Film Editors : Gene Flower Jr., Robert C. Jones Assistant Director : Douglas Green, Lindsley Parsons Jr. Production Design : Rudolph Sternad Music : Ernest Gold  
CAST/Burt Lancaster Judy Garland Gena Rowlands Steven Hill Bruce Ritchey Paul Stewart

愛の奇跡 Distributed by Bitters End URL <http://www.bitters.co.jp/>



少年ルービン。知能の遅れが認められ施設に預けられた彼は、以来2年間父親にも母親にも会っていない。それでも毎週水曜の父兄訪問日にはよそゆぎに着替えて、一日中両親を待つ。ポーチに座り、ただ待っている—

## 子どもへの愛を模索する大人たち

名門音楽大学を出ながらも人生に目的が持てず、様々な職を転々としているジーン。そんな彼女がルービン少年のいる知的障害児施設に赴任する。戸惑いながらも子どもたちに接しようとするジーンに、クラスで反抗的なルービンはよくなくようになる。両親と会えばルービンのかたくなな心も晴れるはず…ジーンは、思いあまって母親ソフィに嘘の手紙を書き、面会に来させようとする。一方、障害をもった子どもにとって親の存在が時には悪影響を及ぼすと考える施設の校長クラーク博士は自分の信念を貫きながらも、心を開かないルービンに手を校している。そしてルービンの父親テッドは我が子を施設に預けた日から、息子存在を忘れ去ろうとし、母親ソフィはルービンの将来を思い二度と会わないことが息子のため、と信じ続ける…。

与えずぎる愛、伝わりがたい愛、消せない愛、見守る愛。大人たちが思い悩む中、当のルービンは何も分らずにただ日々を過ごす。子どもが必要とする愛とは何なのか、大人は子どもに一体なにができるのか。知的障害児施設を舞台に描かれる、大人たちの子どもへの様々な思い—それは、心を閉ざしたルービン少年に“奇跡”を起こし、大人たち自身に子どもを愛する勇気を与えた。

# A CHILD IS WAITING



愛の奇跡

## 描き出される子どもたちの日々

かごあみの上手な子、車のモデルにくわいしい子、はにかむ子、得意げな子。施設でルービンと共に生活するのは実際に障害を持った子どもたち。画面からあふれる彼らの表情、しぐさには子どもならではの楽しみ、心の温かさがにじみでる。障害を持っていても子どもは子ども。監督ジョン・カサヴェテスは、彼らに与えられるあらゆる形の愛情を残らず映し出し、観るものの心をつき動かす。

—問題はばくら愚かな大人たちにあって、  
子どもたちにはないってことだ。

——『ジョン・カサヴェテスは語る』より



## カサヴェテス・スピリットはここから始まった。

多くの映画人が“マイ・ヒーロー”として敬愛する伝説的映画監督ジョン・カサヴェテス。1989年に59歳の若さでこの世を去るまでに12本の映画を作りだした。そのデビュー作『アメリカの影』(58)は、ハリウッド黄金期が終焉を迎えつつあったさなか、ノンスター、低予算映画ながら高く評価され、興行的にも成功、インディペンデントの可能性を世間に知らしめた。初めから独立製作を目指していたわけではなかったカサヴェテスは、その後メジャーと契約、2本目に製作されたのが本作『愛の奇跡』である。しかし“障害児”の社会における在り方においてプロデューサーと意見が決裂、以降ハリウッドから遠ざかる。“自分の撮りたいものだけを撮る”そのストイックなまでの精神はここから始まり、そのスタイルは生涯貫かれた。『アメリカン・インディーズの父』と呼ばれるジョン・カサヴェテス—その魅力は今尚、多くのアーティストに影響を与え続けている。

※キャスト バート・ランカスター、ジュディ・ガーランド、ジーン・ローランズ、  
スティーブン・ヒル、ブルース・リッチー、ポール・スチュワート

※スタッフ 監督:ジョン・カサヴェテス、プロデューサー:スタンリー・クレイマー、製作補:フィリップ・ラングナー、  
原案・脚本:アビー・マン、撮影:ジョセフ・ラッセル、編集:ジーン・ファウラー、Jr.、ロバート・C・ジョンソン、  
助監督:ダグラス・グリーン、リンズリー・バーソズ、美術:ビル・ワ、スターナット、音楽:アーネスト・ゴールド  
1963年/アメリカ/白黒/ヴィスタ/102分/ユナイテッド・アーティスト/配給:ピタース・エンド

## 二大スターとの共演—カサヴェテスのミュージズ、 ジーン・ローランズ誕生。

生きる目的を見失い、たどりついた仕事先で障害をもった少年と出合い、ついには“希望”を見いだす音楽教師にジュディ・ガーランド、『オズの魔法使い』(39)に主演、主題歌「虹の彼方に」を歌いスターダムに昇る。その後もミュージカル映画で活躍、本作出演後は歌手業に専念した。また、ジーンと意見を対立させながらも彼女を導いていく施設の校長クラーク博士にバート・ランカスター。アメリカ映画界きってのスター性でヨーロッパにも進出、ルキノ・ヴィスコンティ監督の『山猫』でも主演をはり、その存在感を見せつけた。そしてルービンの母親役にジーン・ローランズ。夫であるカサヴェテスの監督作品に本作で初めて役をもって出演、困惑しながらもわが子を愛する上でギリギリの決断をする母親を見事に演じ、カサヴェテス作品に欠かせない存在となる。



5月6日(土)～5月19日(金) 連日PM8:20よりレイトショー!

## カサヴェテス特集上映 ◎CASSAVETES 2000◎

A.ハズバンズ B.ミニー&モスコウィッツ C.グロリア

4月29日(土)～5月5日(金) 11:20=C/1:40=A/4:05=B/6:15=A

5月6日(土)～5月19日(金) 11:15=A/1:40=B/3:50=A/6:15=B

●前売特別鑑賞券=1400円(当日一般=1700円)各回完全入替制●

●前売特別鑑賞券=1400円(当日一般=1700円)●



ハワイティ 佃田泉の広場M-10右とがる乗々5分

扇町ミュージアムスクエア

☎06-6361-0088 www.oms.gr.jp

★★カサヴェテス公開記念イベント★★ 4月22日 京都みなみ会館 4月28日 クラブダウン